

名古屋大学理学部における学習について

これから大学で勉学を進めるに当たっては、まず履修計画を立てることが必要です。配布した全学教育科目履修の手引、全学教育科目授業時間割（A表およびB表）、シラバスおよび本便覧を参照して履修計画をたててください。

1. クラス編成と学期

理学部の学生は、1，2年次の間、理-1～理-12クラスのいずれかに属することになります。各クラスの1年次における指導教員（クラス担当）を前ページに示します。クラス担当は、必ずしも諸君が志望する学科の教員ではないかもしれませんが、学習、研究、学資のような個人的なことがらなどについて、何でも遠慮なく相談してください。2年次では、入学時に決められたクラスは存続しますが、各クラスにクラス担当はおきません。諸君が分属した学科（第3項参照）の教室主任がクラス担当として相談にのることになります。各自がどのクラスに所属するかはガイダンスの際に分かります。

学部の課程を修了するまでに普通は4年間を要するので、この間に8つの学期が含まれることとなります。これを1年次の春学期から通し番号をつけて次のように呼んでいます。

また本学では、セメスター（2学期）に加え、クォーター（4学期）で授業が実施できるよう学期を設定しています。学年（年度）を春学期・秋学期の2つに分けた上で、さらに各期の授業期間を2つに分け、前半を春1期・秋1期、後半を春2期・秋2期とします。

1年次		2年次		3年次		4年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII

(注)期の順番を表す数字は常にローマ数字を使用しています。

2. 進級要件について

理学部では1年次における修得単位数が20単位に満たない学生については、2年次への進級を認めません。この「20単位」には、1年次に開講される全学教育科目及び理学部専門系科目のすべての科目が対象になります。

修得単位数が20単位未満の学生は、進級することはできないので、学科分属（第3項参照）を行うことができません。もう一度1年次生として、1年次のカリキュラムを履修してください。

進級判定年次	科目区分及び必要単位数	進級できない者の取扱等
1年次終了時	1年次終了時において、20単位以上修得していること。	① 1年次に留める。 ② 1年次の在学年数は、通算5年までとする。 (在学年限(8年) - 2～4年次の年数(3年)) ③ ②の通算5年に達しても進級できない者については除籍する。

3. 学科分属について

理学部では、1年次の間はどの学科にも属さず広くいろいろな教科を学習することになっています。2年次からは特定の学科（数理学科、物理学科、化学科、生命理学科、地球惑星科学科）に属し、主にそこの専門教育を受けることとなります。これを「学科分属」といいます。10項の(5)、(6)で述べるように数理学科、物理学科、化学科及び地球惑星科学科については、1年次の内に特定の専門基礎科目と理系基礎科目を履修することが要求されていますので特に注意してください。また、地球惑星科学科へ進学する学生は、4年次で地球惑星科学特別研究（卒業研究）を履修するまでに、専門系科目の必修

科目及び全学教育科目の必要単位数のすべてを履修しておくことが要求されます。

学科分属に際して各学科が受け入れることができる学生数は、学生定員に応じて教員の数や教室、実験室の広さが決まっていることから限度があります。このため志望者が定員を超過したときあるいは定員を下回ったときには何らかの調整を行うこととなります（1年次における専門基礎科目、理系基礎科目などの履修状況や成績が参考とされたり、特定の科目の試験や面接が行われたりすることがあります。）。

なお、学科分属の際に第一志望の学科に分属されなかった学生に対して、「再分属制度」があります。

再分属の選考の際には、既修得単位のほかに、再履修をした理系基礎科目の成績も加味することも可能です。そのため、あらかじめ指定した理学部向け理系基礎科目のうち、一般学生の履修登録後、受講生数にゆとりがある科目について再履修を許可しますので、理学部教務学生係から「再履修願」をもらってください。

詳細については、1年次の分属ガイダンスにてお知らせします。

4. 授業科目と卒業要件単位数について

名古屋大学理学部在学中に受講する科目は、全学教育科目及び学部科目です。全学教育科目には、全学基礎科目、文系基礎科目、理系基礎科目、文系教養科目、理系教養科目及び全学教養科目があります。全学教育科目は、専門を越えた広い視野を養うための科目で全学の教員が分担して担当しています。その科目表は、**全学教育科目履修の手引**の中にくわしく記されています。学部科目は専門基礎科目及び専門科目で、これは理学部の教員が担当します。2年次までに開講される専門科目と専門基礎科目は卒業するうえでは重要な科目ですので特に注意してください。

卒業するためには全学教育科目および学部科目の所定の単位を履修することが必要です。卒業要件単位数は分属する学科によって異なります。

全ての科目は必修科目、選択必修科目及び選択科目に分類できます。必修科目は必ず修得すべき科目、選択必修科目は指定された科目の中から所定の単位数を修得すべき科目です。さらに諸君の要求に応えるよう幅広く用意されているのが選択科目です。各自が専攻しようとする学科の卒業要件単位数を考慮し、履修計画を立ててください。

全学教育科目のうち理系基礎科目は、学部科目の基礎となる科目で、学科によっては一部必修、又は選択必修となっていますから注意してください。

5. 履修取り下げ制度について

本学では授業科目の成績評価に際して、「W（欠席）」と「F（不合格）」の扱いをより厳格に取り扱うため、履修登録を行ったが、何らかの事情により学期途中で履修する意思がなくなった科目について、学生から意思表示ができるよう、所定の期限までに授業担当教員へ履修を取り下げる旨の届けをする履修取り下げ制度を導入しています。

授業担当教員に履修取り下げの意思を示した場合、成績評価の際、「F（不合格）」ではなく「W（欠席）」となります。

なお、個々の授業科目の「W」と「F」の扱いについて、及び履修取り下げの際に「履修取り下げ届」の提出を必要とするかどうかについては、各授業科目のシラバスを確認してください。

「履修取り下げ届」の提出を必要とする場合、用紙は理学部教務学生係で受け取り、必要事項を記入の上、春学期は5月末までに、秋学期は11月末までに授業担当教員に届けてください。ただし、個々の授業の事情により提出期限が異なる場合がありますので、授業担当教員に確認してください。

6. 成績評価について

理学部専門系科目の成績は、「A+」、「A」、「B」、「C」、「C-」、「F」の区分で評価します。「A+」、

「A」, 「B」, 「C」, 「C-」は合格で, 所定の単位が与えられます。「F」は不合格で, 単位は与えられません。

7. 成績評価に関する問い合わせ

成績評価に関して, 疑義が生じた場合は, 授業担当教員へ問い合わせることができます。成績が発表された日から3日以内に, 担当窓口(全学教育科目については教養教育院事務室, 専門系科目については各学部の教務学生係等)へ「成績評価照会票」(様式は名古屋大学ポータル学務タブ内の“教育推進部からのお知らせ”からダウンロードできます。)を提出してください。

なお, 成績評価が記載されていない科目についても, 直接上記担当窓口までお問い合わせください。

8. 試験時における不正行為について

試験の際, 不正行為を行ってはけません。

万一, 不正行為のあったときは, 「名古屋大学学生の懲戒等に関する規程」により, 何らかの措置(当該学生の当該学期に認定される全授業科目の単位をすべて無効とする等)を決定します。

9. 連帯保証人への修得単位通知書の送付

名古屋大学では, 学生への充実した修学指導の一環として, 大学が連帯保証人と連携して学生への指導助言を行うため, 入学手続の際に本人及び連帯保証人に同意いただいた場合, 前年度までの単位修得状況(修得単位通知書)を連帯保証人に送付します(2年次, 3年次, 4年次の6月中旬~下旬に発送)。

10. 授業時間割と履修計画について

全学教育科目授業時間割(A表及びB表)並びに理学部各学科の専門基礎科目の時間割を参照しつつ履修計画を立ててください。

以下, 各科目ごとの注意事項を記します。

(1) 文系基礎科目, 文系教養科目, 理系教養科目, 健康・スポーツ科学

全学教育科目時間割(B表)の対象学部・クラス欄に理と記してあるすべての授業を選択履修できます。もしこれ以外の授業を履修したいときには, 受講を認められることもありますから, 希望を申し出てください(受講調整, 全学教育科目履修の手引参照)。

2, 3年次になると学部科目が増えますので, なるべく1年次の間に履修しておいてください。

(2) 言語文化

英語については, 学部別および習熟度別(入学時に実施するプレイスメントテストの成績による)で受講すべき授業が決まっています(クラス指定, 全学教育科目履修の手引参照)。全学教育科目授業時間割表を参照して, 指定された授業を受講してください。

英語以外の外国語としてドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語, スペイン語及び朝鮮・韓国語が履修できます。これらは原則として, 対象学部・クラスが「理」となっている授業の中から選択して履修してください。

(3) 基礎セミナー

基礎セミナーは, I期及びII期に開講されます。必修ですから全学教育科目時間割(B表)の対象学部・クラス欄の指示にしたがって, 必ず受講してください。1クラスの人数が制限されますから必ずしも希望する授業を受講できないかもしれません。希望する授業を複数選んで, 希望順位を決めておいてください。

(4) 全学教養科目

全学教養科目のほとんどは, III期及びIV期に配置されていますが, 一部については, I期にも開講

されています。

(5) 理系基礎科目

理系基礎科目の履修にあたっては、志望する学科の卒業要件によく注意してください。例えば、数理学科に所属した場合は微分積分学Ⅰ，Ⅱ，線形代数学Ⅰ，Ⅱ及び複素関数論が必修，物理学科に所属した場合は物理学基礎Ⅰ及び電磁気学Ⅰ，Ⅱが必修です。さらに分属する学科によっては、以下に示すように特定の授業を履修することが望まれています。これらの授業を履修しない場合は、分属の時に不利になることがありますから注意してください。

【数理学科志望の学生】

将来、数理学科を志望する学生は、次の授業を履修することが必須です。

1年春学期（Ⅰ期）	水曜2限	線形代数学Ⅰ
	木曜4限	微分積分学Ⅰ
1年秋学期（Ⅱ期）	月曜4限	線形代数学Ⅱ
	金曜1限	微分積分学Ⅱ

また、1年の数学演習，数学展望を選択することを望みます。

【物理学科志望の学生】

将来、物理学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	火曜3・4限	物理学実験
	金曜2限	物理学基礎Ⅰ（必修科目）
1年秋学期（Ⅱ期）	月曜2限	電磁気学Ⅰ（必修科目）

【化学科志望の学生】

将来、化学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	水曜1限	化学基礎Ⅰ
1年秋学期（Ⅱ期）	金曜3限	化学基礎Ⅱ

【地球惑星科学科志望の学生】

将来、地球惑星科学科を志望する学生は、次の授業を選択することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	水曜2限	線形代数学Ⅰ
1年春学期（Ⅰ期）	木曜4限	微分積分学Ⅰ
1年春学期（Ⅰ期）	金曜2限	物理学基礎Ⅰ

(6) 専門基礎科目

1年次の間にいくつかの専門基礎科目が開講されます。時間が許す限りこれらの授業を幅広く履修することを望みます。

1年春学期（Ⅰ期）	数学演習Ⅰ・数学展望Ⅰ・現代物理学序論Ⅰ・地球惑星科学の最前線
1年秋学期（Ⅱ期）	数学演習Ⅱ・数学展望Ⅱ・物理学基礎演習Ⅰ

このうち数理学科へ分属を希望する学生は、数学演習Ⅰ，Ⅱ及び数学展望Ⅰ，Ⅱを，物理学科へ分属を希望する学生は現代物理学序論Ⅰ及び物理学基礎演習Ⅰを受講することを強く希望します。

(7) プレセミナー

理学部独自の制度として“プレセミナー”があります。これは卒業要件単位数には取り扱われませんが、各学科の教員と大学院生を中心として学科の紹介をかねた簡単なテーマの下に約半年間行われるセミナーです。具体的な内容は4月になって示されます。学科分属など自分の将来を決める一つの大きな材料となるべきものですから積極的な参加を望みます。

11. 履修手続きについて

「全学教育科目履修の手引」にそれぞれの科目の履修の手続方法が述べられていますので、参照してください。

科目区分の内容

科目区分	内 容		
専 門 系 科 目	各学科の専門の学術を学習する科目。入門的、基礎的科学と中核的な専門科目及びこれと関連する専門科目で構成される。専門系科目を専門科目、関連専門科目、専門基礎科目に分類し、初年次から系統的な専門教育を行う。	理学部専門系科目	
専 門 科 目	学科の専門系科目のうちの、最も中核的な授業科目(卒業論文又は卒業研究を含む)。学生が将来大学院で更に高度な専門教育を受けたり、当該専門分野の技術者・研究者となるために必要な知識と考え方を教育する。主として2年次以降開講される。		
関 連 専 門 科 目	専門科目の周辺に位置する科目で、専門科目の教育効果をより高めるための科目。ただし、本学部においては設定されていない。		
専 門 基 礎 科 目	学科において開講される専門科目、関連専門科目等を理解するのに必要な、専門に直結した基礎教育科目。		
基 礎 科 目	全 学 基 礎 科 目	初年次生を大学教育へ導入し、自立した学習能力を身につけるとともに、文・理に共通した基礎的学力や技能を養う科目。	全学教育科目
	基礎セミナー	多面的な知的トレーニングによって、コモンベシックとしての読み、書き、話す能力のかん養を図るとともに、真理探究の方法と面白さを学ぶ科目。	
	言 語 文 化	専門的学習のツールとしての外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育む科目。	
	健康・スポーツ科学	健康に関する自己管理能力、生涯スポーツの基礎となる技能の習得、スポーツを通じたコミュニケーション能力やリーダーシップを育む科目。	
	文 系 基 礎 科 目	人文・社会科学系分野の学問体系を認識するとともに、自主的判断能力を培う科目。	
理 系 基 礎 科 目	自然科学系分野の学問体系を認識するとともに、自主的判断能力を培う科目。		
教 養 科 目	文 系 教 養 科 目	人文・社会科学系分野の諸現象について、それらの諸現象を学際的、総合的に分析、把握する能力を育むとともに、他の学問分野との関連性について理解する科目。	全学教育科目
	理 系 教 養 科 目	自然科学系分野の諸現象について、それらの諸現象を学際的、総合的に分析、把握する能力を育むとともに、他の学問分野との関連性について理解する科目。	
	全 学 教 養 科 目	専門分野を問わず、豊かな人間性を育み、総合的判断力のかん養する科目。	
	開 放 科 目	学生の自主的で多様な学習意欲に応えるため、学部等が開講する専門系授業科目のうち、他学部の学生の受講が可能であり、かつ、有意義であると認めて全学に開放する科目。	

12. コースナンバリングについて

本学ではカリキュラムの体系性を明示し、海外大学との単位互換等において、どの学年、もしくはどのレベルの科目かなど、科目の位置付けを明確にすることで、カリキュラムの国際通用性を高めるために全ての科目に10桁の英数字を付しています。

理学部系専門科目のコースナンバリング構成は、以下のとおりです。

理学部系専門科目のコースナンバリング一覧は、名古屋大学理学部ホームページ (<http://www.sci.nagoya-u.ac.jp/education/index.html>) に掲載しています。

理学部授業科目のコースナンバリング



①部局名: SCI (Science)

②分野区分

MA	数理学科
PH	物理学科
CH	化学科
BI	生命理学科
EP	地球惑星科学科
OT	その他(教職科目など)

③レベル

番号	全学基準	理学部基準
0	全学教育(基礎レベル)	—
1	全学教育(発展的レベル)	—
2	学部専門科目(基礎的レベル)	学部1・2年向け専門科目
3	学部専門科目(発展的レベル)	学部3年向け専門科目
4	学部専門科目(卒業研究等)	学部4年向け専門科目
5	大学院前期課程科目(基礎的レベル)	—
6	大学院前期課程科目(発展的レベル)	—
7	大学院後期課程科目	—
8	その他(教職科目など)	その他(教職科目など)

④中分類

番号	内容
0-5	講義科目(講義、講義及び演習、講義及び実験)
6-9	講義以外の科目(演習、実験、セミナー等)

⑤連番: 科目ごとに付番される固有番号

⑥使用言語: 授業で使用される言語

記号	言語
J	日本語
E	英語
B	日英2言語併用
O	その他の言語

専門基礎科目授業時間割〔1年次〕

I 期

曜	時限	1	2	3	4	5
月		地球惑星科学の 最前線 (伊藤 武男) ES総合館 ES034 0665010	現代物理学序論 I (谷山・川村・岡本・清水) 南館坂田・平田ホール 0628000			
		数学演習 I (藤原和 他) 教室は追って通知する 0613400	数学展望 I (永尾) 多元数理科学棟 509 0613100			
火						

集中講義	地球環境セミナー (開講せず) 0665100
------	-------------------------

II 期

曜	時限	1	2	3	4
水		物理学基礎演習 I (小林晃) B5 講義室(理学部B館5階) 0628200(クラス1~6) (田村) C5 講義室(理学部C館5階) 0628201(クラス7~12)	数学演習 II (大内 他) 教室は追って通知する 0613500		
木					数学展望 II (宇澤) 多元数理科学棟 509 0613200

2年次までに開講される専門科目と専門基礎科目

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別			
					開講時期	必修・選択		
数 理 学 科	専 門 科 目	現代数学基礎 A II	0615210	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		現代数学基礎 B II	0615110	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		現代数学基礎 C II	0610210	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		現代数学基礎 C III	0614820	講 義	4	2年 秋学期	必 修	
		数 学 演 習 V	0613530	演 習	2	2年 秋学期	必 修	
		数 学 演 習 VI	0613540	演 習	2	2年 秋学期	必 修	
		計 算 数 学 基 礎	0613310	講義及び演習	3	2年 秋学期	選 択	
	専 門 基 礎 科 目	数 学 展 望 I	0613100	講 義	2	1年 春学期	選 択	
		数 学 演 習 I	0613400	演 習	2	1年 春学期	選 択	
		数 学 展 望 II	0613200	講 義	2	1年 秋学期	選 択	
		数 学 演 習 II	0613500	演 習	2	1年 秋学期	選 択	
		現代数学基礎 A I	0610110	講 義	4	2年 春学期	必 修	
		現代数学基礎 B I	0615410	講 義	4	2年 春学期	必 修	
		現代数学基礎 C I	0615310	講 義	4	2年 春学期	必 修	
	物 理 学 科	専 門 科 目	先端物理学特論	0631300	講 義	1	2年 春学期	選 択
			物 理 実 験 学	0623400	講 義	2	2年 秋学期	選 択
情 報 科 学 概 論 I			0623700	講 義	2	2年 秋学期	選 択	
情 報 科 学 概 論 II			(α)0623800 (β)0623801	講 義	2	2年 秋学期	選 択	
専 門 基 礎 科 目		現代物理学序論 I	0628000	講 義	2	1年 春学期	選 択	
		現代物理学序論 II	0628100	講 義	2		選 択	
		物理学基礎演習 I	0628200 0628201	演 習	1	1年 秋学期	選 択	
		物理学基礎演習 II	0628300 0628301	演 習	1		選 択	
		力 学 特 論	0631400	講 義	2	2年 秋学期	選 択	
		力学特論演習	0631500	演 習	1	2年 秋学期	選 択	
		解 析 力 学	0631600	講 義	2	2年 春学期	必 修	
		電 磁 気 学	0628610	講 義	2	2年 秋学期	必 修	
		量 子 力 学 I	0628800	講 義	2	2年 秋学期	必 修	
		統計物理学 I	0628900	講 義	2	2年 秋学期	必 修	
		数理物理学 I	0629000	講 義	2	2年 春学期	必 修	
		数理物理学 II	0629100	講 義	2	2年 春学期	必 修	
専 門 基 礎 科 目	解析力学演習	0631700	演 習	1	2年 春学期	必 修		
	電 磁 気 学 演 習	0631800	演 習	1	2年 秋学期	必 修		
	電磁気学 II 演習	0631900	演 習	1	2年 春学期	必 修		
	量子力学 I 演習	0632000	演 習	1	2年 秋学期	必 修		
	統計物理学 I 演習	0632100	演 習	1	2年 秋学期	必 修		
	数理物理学 I 演習	0632200	演 習	1	2年 春学期	必 修		
	数理物理学 II 演習	0632300	演 習	1	2年 春学期	必 修		

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別		
					開講時期	必修・選択	
化学 科学 科目	専門 基礎 科目	物理化学基礎	0642600	講義	2	2年 春学期	選択必修
		分析化学Ⅰ	0642700	講義	2	2年 春学期	選択必修
		分析化学Ⅱ	0642800	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		無機化学Ⅰ	0642900	講義	2	2年 春学期	選択必修
		無機化学Ⅱ	0643000	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		無機化学Ⅲ	0643020	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		有機化学Ⅰ	0643100	講義	4	2年 通年	選択必修
		有機化学Ⅱ	0643110	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		物理化学	0643300	講義	4	2年 通年	選択必修
		量子化学Ⅰ	0643400	講義	4	2年 通年	選択必修
		生物化学Ⅰ	0643600	講義	2	2年 春学期	選択必修
		生物化学Ⅱ	0643700	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		化学講究Ⅰ	0643800	講義と演習	2	2年 春学期	必修
		化学講究Ⅱ	0643900	講義と演習	2	2年 秋学期	必修
生命 理学 科学 科目	専門 科目	生物科学実験Ⅰ	0650100	実験	2	2年 春学期	必修
		生物科学実験Ⅱ	0650200	実験	2	2年 秋学期	必修
		生物科学実験Ⅲ	0650300	実験	2	2年 秋学期	必修
		生物科学実験法及び実験Ⅵ	0650600	実験及び講義	2	2年 秋学期	必修
		生物科学実験法及び実験Ⅶ	0650700	実験及び講義	2	2年 秋学期	必修
	専門 基礎 科目	基礎遺伝学Ⅰ	0653710	講義	2	2年 春1期	選択必修
		基礎遺伝学Ⅱ	0653720	講義	2	2年 春2期	選択必修
		基礎遺伝学Ⅲ	0653730	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅰa	0653811	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅰb	0653812	講義	1	2年 春2期	選択必修
		基礎生物物理学Ⅱa	0653821	講義	1	2年	選択必修
		基礎生物物理学Ⅱb	0653822	講義	1	2年	選択必修
		基礎生化学Ⅰa	0653911	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎生化学Ⅰb	0653912	講義	1	2年 春2期	選択必修
		基礎生化学Ⅱa	0653921	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎生化学Ⅱb	0653922	講義	1	2年 春2期	選択必修
		基礎生化学Ⅲa	0653931	講義	1	2年 秋1期	選択必修
		基礎生化学Ⅲb	0653932	講義	1	2年 秋2期	選択必修
		基礎生理学Ⅰa	0654011	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎生理学Ⅰb	0654012	講義	1	2年	選択必修
基礎生理学Ⅱa	0654021	講義	1	2年	選択必修		
基礎生理学Ⅱb	0654022	講義	1	2年	選択必修		
基礎発生学Ⅰa	0654111	講義	1	2年 秋1期	選択必修		

生 命 理 学 科	專 門 基 礎 科 目	基礎発生理学Ⅰb	0654112	講義	1	2年 春1期	選択必修
		基礎発生理学Ⅱa	0654121	講義	1	2年	選択必修
		基礎発生理学Ⅱb	0654122	講義	1	2年	選択必修
		基礎細胞学Ⅰ	0654210	講義	2	2年 春学期	選択必修
		基礎細胞学Ⅱ	0654220	講義	2	2年 秋学期	選択必修
		基礎細胞学Ⅲ	0654230	講義	2	2年 秋学期	選択必修
	基礎 科 目	基礎生物学演習Ⅰ	0654310 0654311 0654312 0654313	演習	2	2年 春学期	必修
		基礎生物学演習Ⅱ	0654320 0654321 0654322 0654323	演習	2	2年 秋学期	必修
		基礎分子生物学演習Ⅰ	0654410 0654411 0654412 0654413	演習	2	2年	選択必修
		基礎分子生物学演習Ⅱ	0654420 0654421 0654422 0654423	演習	2	2年	選択
	專 門 科 目	生命化学Ⅱa	0651701	講義	1	2年	選択
		生命化学Ⅱb	0651702	講義	1	2年	選択
		発生理学Ⅱa	0651421	講義	1	2年 春2期	選択
		発生理学Ⅱb	0651422	講義	1	2年	選択
		分子生理学Ⅱa	0651931	講義	1	2年	選択
		分子生理学Ⅱb	0651932	講義	1	2年	選択
		生物物理学Ⅰa	0651211	講義	1	2年 秋1期	選択
		生物物理学Ⅰb	0651212	講義	1	2年 秋2期	選択
		生物学特論XV	0655450	講義	1	2年 春1期	選択
		生物学特論XVI	0655460	講義	1	2年 春2期	選択
生物学特論XVII		0655470	講義	1	2年 春1期	選択	
生物学特論XVIII		0655480	講義	1	2年 春2期	選択	

区分	授業科目	講義コード	授業形態	単位数	開講時期及び必修・選択の別		
					開講時期	必修・選択	
地球惑星科学科	専門科目	地質学実験	0660100	実験	2	2年 通年	必修
	フィールドセミナーI(地球科学野外巡検)	0660500	演習	3	2年 通年集中	必修	
	地質調査	0660601	演習	8	2年 秋集中 3年 春集中	必修	
	生態学 I	0669510	講義	2	2年 秋学期	選択	
	基礎科目	地球惑星数学及び演習	0660310	講義及び演習	2	2年 春学期	必修
		大気水圏科学基礎	0662620	講義	2	2年 秋学期	必修
		地球惑星化学 I	0665410	講義	2	2年 春学期	必修
		地球惑星物理学概論	0665520	講義	2	2年 春学期	必修
		地球生物学	0665610	講義	2	2年 春学期	必修
		岩石学	0666010	講義	2	2年 春学期	必修
		地球惑星物理学実験法及び実験 I	0666120	講義及び実験	3	2年 秋学期	必修
		地質調査法	0666200	講義	2	2年 秋学期	必修
		構造地質学	0668730	講義	1	2年 春1期	必修
		地球環境学	0668900	講義	2	2年 秋学期	必修
		地球惑星科学の最前線	0665010	講義	2	1年 春学期	選択
		地球環境セミナー	0665100	演習	1	開講 せず	選択
		テクトニクス	0665210	講義	1	2年 春2期	選択
		地球惑星物理学基礎	0666210	講義	2	2年 春学期	選択
		熱力学基礎	0666220	講義	2	2年 秋学期	選択
		地球ダイナミクス	0666230	講義	2	2年 秋学期	選択
堆積地質学		0666300	講義	2	2年 春学期	選択	
同位体地球化学	0666400	講義	2	2年 秋学期	選択		
地球内部物性論	0669710	講義	2	2年 秋学期	選択		

理 系 基 礎 科 目						
授業科目	授業形態	単位数 (1学期当り)	志望学科による必修選択の別			
			数 理 学 科	物 理 学 科	化 学 科	生 命 理 学 科 地 球 惑 星 学 科
微分積分学Ⅰ	講 義	2	必 修	下記(注1)参照 選 択 必 修	下記(注2)参照 選 択 必 修	選 択
線形代数学Ⅰ	講 義	2	必 修	下記(注1)参照 選 択 必 修	下記(注2)参照 選 択 必 修	選 択
微分積分学Ⅱ	講 義	2	必 修	下記(注1)参照 選 択 必 修	下記(注2)参照 選 択 必 修	選 択
線形代数学Ⅱ	講 義	2	必 修	下記(注1)参照 選 択 必 修	下記(注2)参照 選 択 必 修	選 択
複素関数論	講 義	2	必 修	下記(注1)参照 選 択 必 修	下記(注2)参照 選 択 必 修	選 択
物理学基礎Ⅰ	講 義	2		P14(注1)参照 必 修	選 択	選 択
物理学基礎Ⅱ	講 義	2	選 択	P14(注1, 2)参照	選 択	選 択
電磁気学Ⅰ	講 義	2	選 択	必 修	選 択	選 択
電磁気学Ⅱ	講 義	2	選 択	必 修	選 択	選 択
物理学実験	実 験	1.5	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
化学基礎Ⅰ	講 義	2	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
化学基礎Ⅱ	講 義	2	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
化学実験	実 験	1.5	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
生物学基礎Ⅰ	講 義	2	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
生物学基礎Ⅱ	講 義	2	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
生物学実験	実 験	1.5	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
地球科学基礎Ⅰ	講 義	2	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
地球科学基礎Ⅱ	講 義	2	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択
地球科学実験	実 験	1.5	選 択	選 択 必 修	選 択	選 択

(注 1) 微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，複素関数論のうちから6単位以上修得して下さい。

(注 2) 微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，複素関数論のうちから8単位以上修得して下さい。

理学部 理系基礎科目コース内容

数 学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	微分積分学 I	菅 野	クラス 1～3 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	谷 本	
	微分積分学 II	菅 野	
	線形代数学 II	谷 本	
II	微分積分学 I	藤 江	クラス 4～6 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	金 銅	
	微分積分学 II	藤 江	
	線形代数学 II	金 銅	
III	微分積分学 I	松 本	クラス 7～9 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	藤原 (一)	
	微分積分学 II	松 本	
	線形代数学 II	藤原 (一)	
IV	微分積分学 I	加 藤	クラス 10～12 の学生はこの授業を選択してください。
	線形代数学 I	谷 川	
	微分積分学 II	加 藤	
	線形代数学 II	谷 川	

物理学（1年次）

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	物理学基礎 I	寺 崎	クラス1～3の学生はこの授業を選択してください。
	電磁気学 I	棚 橋	クラス1～4の学生はこの授業を選択してください。
II	物理学基礎 I	河 野	クラス4～6の学生はこの授業を選択してください。
	電磁気学 I	寺 崎	クラス5～8の学生はこの授業を選択してください。
III	物理学基礎 I	川 村	クラス7～9の学生はこの授業を選択してください。
	電磁気学 I	清水 裕	クラス9～12の学生はこの授業を選択してください。
IV	物理学基礎 I	久 野	クラス10～12の学生はこの授業を選択してください。
	物理学基礎 II	中 村	全クラス学生用

- (注1) ・物理学基礎 I および電磁気学 I ・ II は物理学科の必修科目です。
 ・物理学基礎 II を履修して物理学科に所属した学生は、電磁気学 I ・ II を2年次に履修して下さい。
- (注2) 物理学基礎 II は高校で物理を履修していない学生用のコースです。

物理学（2年次）

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	電磁気学 II	棚 橋	クラス1～6の学生はこの授業を選択してください。
II	電磁気学 II	清水 裕	クラス7～12の学生はこの授業を選択してください。

化 学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	化学基礎 I	伏 谷	クラス1～4の学生はこの授業を選択してください。
	化学基礎 II	多 喜	
II	化学基礎 I	北 浦	クラス5～8の学生はこの授業を選択してください。
	化学基礎 II	山 田	
III	化学基礎 I	高 木	クラス9～12の学生はこの授業を選択してください。
	化学基礎 II	八 木	

生物学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	生物学基礎 I	五 島	高校で深く生物を学んでいない学生はなるべくこの授業を選択してください。
	生物学基礎 II	多 田	
II	生物学基礎 I	田 中	高校で深く生物を学んだ学生はなるべくこの授業を選択してください。
	生物学基礎 II	嘉 村	

地球科学

コース	授業科目	担当教員	備 考
I	地球科学基礎 I	渡邊/中川	クラス 1～6 の学生はこの授業を選択してください。
	地球科学基礎 II	道 林	
II	地球科学基礎 I	藤田/山岡	クラス 7～12 の学生はこの授業を選択してください。
	地球科学基礎 II	林	